

火山噴火予知連絡会会報

〈第 1 号〉

昭和 49 年 10 月

氣 象 庁

発刊の辞

昭和48年6月29日の文部省測地審議会の建議「火山噴火予知計画の推進について」の趣旨にそい、このたび火山噴火予知連絡会が発足する運びとなった。これまで、火山噴火予知の研究について、我国の各大学・関係機関の成果には見るべきものも多いが、各研究機関の間の連絡協力は必ずしも十分でない面があった。しかし一方ではわが国における火山周辺地域の開発と、最近の火山活動の活発化に伴ない、火山防災・噴火予知に対する社会的要望が急速に盛り上ってきた。このような状況のもとに、各大学・関係機関が、火山噴火予知を前提とした観測・研究を統一的に推進しようという気運がたかまり、上記の建議がだされた次第である。

火山の噴火予知は、噴火地点・噴火被害の予想の点において、地震予知に比べ有利な面が多い。したがって、本連絡会は噴火予知の統一的研究の推進のほかに、防災面に対して果す役割も大きく、行政的に機動性を必要とする点が多い。構成委員に学識経験者のみならず関係機関を含めたゆえんである。また、幹事会を設け、緊急時に対応するよう考慮してある。

今回発刊の運びとなったこの会報は、上記のような経過で成立され、また上述のような重い責任をもつ火山噴火予知連絡会の活動の成果を世に問うものとなる。

本連絡会が着実に発展し、またこの会報が本連絡会の目的達成のために、有効適切な手段の一つになることを切望している。

昭和49年10月1日

火山噴火予知連絡会会長

永田 武

目 次

発刊の辞

火山噴火予知計画の推進について（建議）	1
火山噴火予知連絡会運営要綱	4
海底火山の噴火についての通報及び公表に関する了解事項	6
火山噴火予知連絡会メンバー	6
東北大学理学部：鳥海山 1974年噴火と地震活動	8
北海道大学理学部・防災科学技術センター：	
大島三原山 その1 火口の熱的状態	15
横山 泉：大島三原山 その2 噴火予測に関する試論	17
東京大学地震研究所：伊豆大島における地殻変動測定	21
東京大学地震研究所伊豆大島地磁気観測所：伊豆大島における全磁力測量	26
京都大学防災研究所附属桜島火山観測所：桜島火山活動	28
久保寺 章：西之島 赤外線エアーポーン方式による温度測定結果	35
海上保安庁水路部：西之島の火山噴火活動について	42
気象庁観測部地震課：全国の火山活動状況	57
連絡会記事	71